

SV-NETサーボシステム

多摩川精機（株）は最大8軸同期制御が可能な小型サーボコントローラと、独自のネットワーク「SV-NET」によるディジーチェーン接続が可能な、小型ACサーボドライバと対応ACサーボモータを製品化した。

同製品は、高信頼性とサーボシステムに特化した、シンプルなネットワークモーションコントロールシステムで、自動車用ネットワークに採用され、信頼性の高さでも実績のあるCANをベースに、モーションコントロール用に最適化した中速度フィールドネットワークシステム『SV-NET』を採用しており、サーボモータが3軸～8軸といった比較的小さなシステムを構築する際に、高価でオーバースペックなコントローラやシーケンサを使用することなく、スタンドアロンシステムを構築可能でトータルコストの低減を実現。

コントローラはネットワーク接続した最大8軸の同期運転が可能で、直線補間（8軸）、円弧補間（2軸）、外部デジタルI/Oを32点または64点を内蔵しており、高価なモーションコントローラと比べても遜色ない高い機能を持っている。

コントローラに標準装備のデジタルI/Oを利用する事で、シーケンサ的なプログラミングも可能となり幅広いアプリケーションに対応が可能。

プログラム開発には強力なPCアプリケーションソフト「SV Programmer」も用意されており、直感的かつ柔軟なプログラミングを可能にした。

SV-NET対応のACサーボドライバは、外形がコンパクトにできており、装置内の空きスペースにも設置が可能。豊富な制御パラメータによりネットワーク指令において高い性能を発揮し、ネットワーク指令だけでなく、パルス指令、アナログ指令などの従来からの制御方法にも対応する。

組み合わせのACサーボモータは100W～750Wまでの出力に対応し、車載用角度センサとして採用されている『ブラシレスレゾルバ』を標準搭載、耐環境性（高温、低温、振動、衝撃）に優れた信頼性の高いシステム構築が可能となり、システムのトータルコストダウンを提供する。

『SV-NETサーボシステム』は2007年11月21日より販売を開始する。

SV-NE T製品の特徴

1. 高信頼性、サーボシステムに特化したネットワーク

モーションコントロールの為に誕生した中速度フィールドネットワーク『SV-NE T』は、物理層には自動車搭載として信頼性の高いネットワークである「CAN」を採用し、モーションコントロール用として最適化されたプロトコルにより高信頼性、汎用性、トータルコストダウンを提供します。

2. 容易なプログラミング

ドライバに確実な指令を送る上位コントローラ。強力なPCアプリケーションソフトも充実「SV Programmer」により、直感的かつ柔軟なプログラミングを可能にします。また標準装備のI/Oを利用する事でシーケンサ的プログラミングも可能となり幅広いシーンに対応します。

3. 非常に小型で多機能なドライバ群

豊富な制御パラメータによりネットワーク指令において高い性能を発揮します。また、ネットワーク指令だけでなく、パルス指令、アナログ指令などの従来からの制御方法にも対応できます。

DC電源（24／48V）タイプにて最大容量200W迄（小型：W30×H100×D75）、AC電源（100／200V）タイプにて最大容量750W迄のモータを駆動できます。

4. 耐環境に強く高信頼性センサであるレゾルバを標準搭載

SV-NE Tシステムでは車載用に角度センサとして採用され、耐環境性（高温、低温、振動、衝撃）に優れる、信頼性の高いセンサとして定評のあるレゾルバをモータに標準搭載されております。

モータに電子部品を使っていない事から、サーボモータの性能を最大限に活かせる過酷な環境下でも安心して使用いただけます。

このように『SV-NE Tモーションコントロールシステム』は高信頼性とサーボシステムに特化したシンプルネットワークモーションコントロールシステム商品です。

